



こんな本も読んでみましょう

選者：日本児童文学者協会 事務局長 藤田 のぼる

ロシアの民話

「おだんごぱん」

さい後に食べたのは、だれ？

おばあさんが、のこったこなをかきあつめて、おじいさんのためにやき上げたおだんごぱん。さましている間に、ころころがってにげ出しました。とちゅうで出会った、うさぎや、くまや、きつねに食べられそうになったけど、それでもうまくすりぬけて、川のそばまでやってきた。そこでまっていたのは…。

ウクライナ民話

「てぶくろ」

森のどうぶつたちの家になった、手ぶくろの話

おじいさんが、冬の森におとしていった、かた方の手ぶくろ。まずやってきたねずみが、この中にすもうともぐりこみました。つぎにやってきたかえる、うさぎもなかまに。それから、きつねもおおかみもいのししも、さいごはくままで……。そんなにつめこんで、手ぶくろはいったいどうなった？

作：赤羽 末吉

「おおきなおおきなおいも」

こんなおおきなおいも、見たことない！

みんなが楽しみにしていた、いもほりえんそく。雨で一週間先になってしまいました。でも、そのあいだに土の中でむくむく大きくなるにちがいありません。どれくらい大きくなるだろう？ みんなで考えながらおいもの絵を書きはじめたら、紙がたりなくなるくらいどんどん大きくなって…、そして、さいごは？

作：松野 正子

「ふしぎなたけのこ」

天まで伸びたたけのこが…

母さんに言われてたけのこをほりに行った たら。あつくて、ぬいだうわぎをたけのこにひょいとかけると、それがぐんぐんのび出しました。あわててしがみつくと、たけのこは空にむかってどんどんのびていきます。ふしぎなたけのこのおかげで、海への道を見つけた たらと村の人々の、本当にふしぎなものがたり。